

令和6年度 県春季選手権大会シード設定基準

【令和6年4月】

鹿児島県バドミントン協会小学校部会

過去1年間の県協会主催大会（シングルスの場合はシングルス大会、小学生大会、春季選手権の3大会、ダブルスの場合は小学生大会、春季選手権の2大会）の結果から、下記例の順番でシードを設定する。

1 シングルスの場合（ダブルスは①,④を除外）

- | | | | |
|--------------|-------|--------------|-------|
| ① 当年度シングルス大会 | 1位～2位 | ④ 当年度シングルス大会 | 3位～4位 |
| ② 当年度小学生大会 | 1位～2位 | ⑤ 当年度小学生大会 | 3位～4位 |
| ③ 前年度春季選手権 | 1位～2位 | ⑥ 前年度春季選手権 | 3位～4位 |
- 以下同様に5位～6位, 7位～8位の順で設定する。

2 全国大会推薦選手のために試合に参加しなかった場合には、その者は当該試合で1位であったものとみなし、当該試合の入賞者の順位をそれぞれ1ランクずつ繰り下げるものとする。

3 参加者数が少ない場合は、第1～4シードまでを選出する場合もある。

4 ダブルスで、ペアの変更があった場合には、シードを繰り下げるものとする。

(1) 1位から4位に入った者同士が組んだ場合、又は5位から8位に入った者同士が組んだ場合には、ペアの変更はなかったものとみなす。

(2) 1位から4位に入った者と、5位から8位に入った者又は上学年の1位から8位に入った者とが組んだ場合には、シード権の順位を1ランク下げる。

(第1シード→第2シード)

(3) 1位から4位に入った者が同大会シングルの1位から8位に入った者と組んだ場合には、シード権の順位を1ランク下げる。

(第1シード→第2シード)

(4) 1位から8位までに入った者が9位以下の者と組んだ場合にはシード権を与えない。

5 シングルスで、下学年の種目の1位又は2位に入った者が一つ上の学年の種目に参加した場合(例えば、シングルス大会3年の部で優勝した者が小学生大会4年の部に参加するような場合)には、当該1位の者を第11シードの位置に、2位の者を第12シードの位置に入れるものとする。

6 各チームの選手は、エントリー数に応じて各ブロックに均等に分けるものとするが、第1～4シードについては、シード設定基準のとおり配置する(例えば、第2シードと第3シードが同チームの者であった場合、第3シードと第4シードの位置を変えることをしない)。

7 第5～8シードは、基準大会の5～6位を基本とするが、5～8位までを抽選し、同一チームの選手が均等に配置されるように設定する。

8 チームのランク下位の者がシード権を得ている場合には、その者のチームのランクは1位であるものとみなす。(チームのランク2位の者がシード権を得ている場合、その者に替えてチームランク1位の者にシード権を与えることはしない)。